

令和6年度 第2回 西部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月17日（木） 午後3時から4時40分まで
- 2 開催場所 西部中学校 会議室
- 3 出席委員 藤谷昌宏 長野正弘 小楠達司 大渡三千子 松本鮎子
- 4 欠席委員 明石真
- 5 学 校 鵜飼和生（校長）小出義幸（教頭）山下悦子（教務主任）
宮崎幸枝（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 宮崎幸枝（CSディレクター）
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回の協議会の最後に推薦された藤谷委員から議長を務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 前回会議録の確認

前回会議録の確認が教頭からあった。

11 協議事項

本校における特色ある活動について

- (1) 特色ある活動の情報発信の方法について
- (2) 学校評価の項目について
- (3) 部活動の地域移行について

12 会議記録

司会から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 「特色ある活動の情報発信の方法について」

- ・まずは、学校運営協議会の存在や活動意義を周知し、コーディネーターの存在を広く浸透させていきたい。（藤谷委員）
- ・一部の地域の広報誌で、学校運営協議会のことを記事にしてくれている。（大渡委員）
- ・たくさんある自治会に一様に発信を依頼していくのは現状で難しいところがある。まずは保護者から学校運営協議会の存在や活動を共有していきたい。（長野委員）
- ・保護者はさくら連絡網での連絡が大変助かっており、情報を目にしやすい。（松本委員）
- ・ペーパーレス化が進む中でさくら連絡網も便利ではあるが、PTA総会で校長から

の説明に加え、学校運営協議会の委員が対面で活動の報告等をするには効果があると思う。(藤谷委員)

- ・ 凧揚げ大会や健全育成会などの会議に参加するときには、委員から意識的に発信していくのがよい。(長野委員)
- ・ 地域住民は学校の活動を知る術がない。ボランティアの活動で中学生と会話することが一番の情報源になっている。地域への発信は今後も課題にしていきたい。(小楠委員)

(2)「学校評価の項目について」

議長の指示により山下教務主任より、学校評価アンケート項目や結果についての説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ その評価を何に生かしているのか。評価をすることが目的にならないようにすることが大切。学校として力を入れたポイントの説明も必要。(藤谷委員)
- ・ 結果がここ数年大きな変化がないようなので、積極的に見直して、学校が力を入れていることをアピールしてもよいと思う。(大渡委員)
- ・ ICTに関する質問など、保護者がイメージしやすいことばで質問して欲しい。(松本委員)
- ・ 質問項目については、今回の御意見を参考に学校で更新してお知らせする。(教頭)

(3)「部活動の地域移行について」

議長の指示により、校長より部活動の地域移行について説明がなされ、委員からは以下の発言があった。

- ・ 部活動指導員の数が50人程度では思うような仕組にできないのでは。(小楠委員)
- ・ 部活動はただ競技に取り組むだけでなく、人格形成のために必要な活動だと思うので、形は変わっても子供たちにとって良い場所であってほしい。(松本委員)
- ・ 休日部活動の地域移行については、市全体の動向に注視しながら、我々も情報の共有をしていかなければならない。(長野委員)

13 報告

藤谷コーディネーターより資料に基づき職業講話、職場体験学習についての活動報告があった。

14 その他連絡事項等

次回開催予定及び年間計画について

司会から、次回会議は、令和7年2月13日(木)午後3時から開催する旨の連絡があった。

次回協議会の議長の選出について意見を求めたところ、引き続き藤谷委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。